

後出し 増税に NO!

自民党の衆院選公約であった

消費税10%への引き上げ以外に、

国民生活を直撃する増税が

次々に行われようとしています。

私たちは国民不在の後出し増税にしっかりと目を光らせ、
安易な増税に断固“NO”の声を挙げてまいります！



Q. 衆院選後に出てきた増税プランとは？

政府の税制調査会では、給
与所得控除の縮小、観光促
進税（出国税）、森林環境税、
加熱式たばこ税など、数々の
増税プランが検討されてい
ます。しかし、政府の無駄な
支出を見直すことで、増税を
する必要はなくなります。

政府が検討中の増税内容（一部）



観光促進税（出国税）
海外渡航 1回につき1000円



たばこ税
紙巻きたばこ
1本当たり 3円増税



森林環境税
住民税に上乗せして徴収



所得税・住民税
高額所得者の給与所
得控除の削減など



※会計検査院が指摘
した金額（2016年度）

まず、“税金の無駄”約874億円※を無くし、
公務員の給与増中止で約1900億円をカットすべきです。

Q. 「後出し増税」はいつから？

政府は改正する税制内容を「税制改正大綱」にまとめ、法案を作って国会で審議します。そのスケジュールは右表の通りです。早ければ来年度から、私たちの生活に負担がのしかかってくることになります。



今後の税制改正の予定

2017年12月14日	与党税制改正大綱発表
2017年12月 ～2018年1月	閣議決定
2018年1月以降	関連法案の提出・成立※
2018年4月以降	法律の施行※

※税により法案の提出・成立・施行時期が異なります

Q. 今回の増税のポイントは？

大きく2つあります。1点目が観光促進税（出国税）です。政府は、「観光立国を目指し、訪日外国人の受け入れ体制をつくる」としていますが、訪日客に対して冷や水を浴びせる“観光抑制税”だと言わざるを得ません。

2点目は、給与所得控除の縮小です。給与から差し引く必要経費を減らすため、実質的には所得税・住民税が増税となります。基礎控除が引き上げられるため、中低所得者層の税負担はあまり変わらないものの、高所得者層には増税となります。消費停滞の懸念もさることながら、増税への反発が少なく、取りやすいところから税金を取ろうとする政府の姿勢が見え見えです。

「減税」政党として、 安易な「増税」を認めません！

会計検査院の2016年度調査によると、政府は約874億円のぼろ税金を無駄にしているそうです。「単年度予算制」によって必ずしも必要のない仕事に税金が使われることもあります。また、民間の給与が伸び悩むなか、国家公務員の給与は4年連続で上昇しています。政府が失政や、税金の無駄遣いをしておきながら、国民から血税を吸い上げることは許されるのでしょうか。

重税は「自由の侵害」に他なりません。私たちは、松下幸之助氏[※]も生前唱えていた「無税国家論」を目指し、「安い税金」「小さな政府」を掲げ、この大增税の流れを逆流させるべく奮闘してまいります。

※パナソニック（旧松下電器産業）グループ創業者



幸福実現党 党首

しゃく りょう こ
釈 量子

1969年、東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。大手家庭紙メーカー勤務を経て、1994年、幸福の科学に奉職。常務理事などを歴任。幸福実現党に入党後、女性局長などを経て、2013年7月より現職。



幸福実現党

幸福実現NEWS vol.97